

O.S.P



{ OSPREY / SPIRITUAL / PERFORMER }

VOL.11
April

無料

ご自由にお取りください

Keep it on the down low!!

—並木敏成が語るあのルアーの真実—
～スモークはなぜ釣れるのか?～

新企画 第一弾!!

O.S.Pプロスタッフがホームレイクを徹底紙上ガイド

The Field Guide

～折金一樹@高滝湖～

The Kotaro's Maxims

ワーミングの極意を伝授!!

**O.S.P
動画**

...▽...
随時更新!!

釣りビジョン

**Osprey's
EYE #29**

タイニーブリッツDRで58.5cmを筆頭にビッグバスを連発!!

4月5日21:00～
初回放送

新企画 第二弾!!

腕利きプロスタッフが明かす必須ルアー

三羽の鶉の眼

大塚高志 / 山岡計文

並木敏成&O.S.Pの最新情報はこちら。
並木敏成→<http://bit.ly/23mw0z2>
O.S.P→<http://bit.ly/1RmhVLw>

Journal



ワーミングの極意を伝授!!

THE KOTARO'S MAXIMS

川村光太郎がこれまで手掛けてきたドライブシリーズの数々。

その先陣を切ったドライブクローは瞬間にクロー系ワームの代名詞的存在となりその後も「釣れる!」と称されるたくさんのアイテムを世に送り出してきた。そこで今回は「なぜ、ワームが釣れるのか?」をテーマに考えられるさまざまな要因を川村光太郎が紐解く――



多彩なリグで使い分けができるから

「先にも少しお話ししましたが、ワームはフックポイントを隠してフックをセットすることで、さまざまなスポットを攻めることができます。その際に気を付けたいのがリグ選び。例えばうっそうと植物が生い茂るようなヘビーカバーでは、すり抜けがよくて引っ掛かりにくいテキサスリグが最適です。また広範囲を効率的にチェックしたいのであれば、キャロライナリグがいいでしょう。移動距離を抑えて、ねちねちと誘う必要があるときはネコリグ。ワームを中層に浮かせた状態で誘い続けることができるダウンショットリグ。サスペンドしているバスにスローフォールでアピールするノーシンカーリグなど、多彩なバリエーションでバスのコンディションやフィールドのシチュエーションに対応できるため、状況を選ば釣れると言えますね。」



ワームは多彩なリグバリエーションをさまざまな状況に応じて使い分けことが可能。極端な話をすると、そのときどきでリグを変えれば、ひとつのワームであらゆる局面に対応することも不可能ではないのだ

味とにおいでバスを誘うこともできるから

「バスは視覚に最も頼って捕食するのですが、嗅覚からの刺激も受けます。O.S.Pのワームには(一部を除く)、素材そのものに生命感を持たせるために、本物のエビとイカの粉末を混ぜ込んでいます。本物ならではの生々しい味とにおいが、より強く捕食本能を刺激します。この効果の持続性に優れることも、素材自体に成分を混ぜ込むメリットです。」



すべてのドライブシリーズとHPシャッドテールは、エビとイカの粉末を含有する素材で作られている。この有効成分がより強く捕食本能を刺激。疑いなく食っていくことは、手にしたバスの口元を見れば一目瞭然!!

ハードベイトにはないナチュラルさこそワームの最大のメリット

ルアーは日本語で「疑似餌」ということからわかるように、本物のエサのように見せることでバスを反応させ、バイトに持ち込む。それはハード、ソフト問わずに言えることなのだが、互いに良し悪しを併せ持っている。ここではソフトベイトの「良し」、

「バスはとりわけ賢いサカナです。さまざまなルアーを学習し、疑わしきモノは食わないどころか、見向きもしないことだってあります。しかもフィールドによって程度の差はあるものの、こうしたケースが多々あるというよりむしろ普通なのが昨今のフィールドです。そんな中でも強さを発揮するのがワームです。ワームはスレバスに強い。ハードベイトにはない、ワームならではのメリットを最大限に活用すれば、百戦錬磨のスレバスの口をこじ開けることだってできます。もちろんその能力はワームのポテンシャルにもよりますが…… ちなみにO.S.Pのワームが飛び抜けて釣れる理由は、すべてにおいてポテンシャルが高いことにあります。」



日に日にプレッシャーは高まる一方のフィールド事情だが、ワームはそんな状況を打破する救世主。艶めかしい動きや味とにおいを含む素材、さまざまなリグバリエーションなど、ワームならではのメリットを駆使すれば、ハイプレッシャーも恐れるに足りない!

アイテムごとにベストな素材を選んでいるから

「これまでも何度かお話ししてきましたが、O.S.Pのワームはアイテムごとにベストな素材を選んでいます。形状と素材がマッチしてはじめて釣れるワームになるとボクは思っています。同じ形状でも素材が変われば動きもまったく別物になるので、素材の選定は非常に大切なことなのです。そのワームが最も魅力的にアクションするために、素材の硬さや塩の量を段階的に調整。どのバランスが最適なのかを見極めるテストを繰り返したうえで、製品化にこぎつけるのです。」

つまり「ソフトベイトが釣れる理由」に焦点を当て、川村光太郎が考えるさまざまな要因について解説していこうと思う。

中でも第一に挙げられるのはやはり、ソフトな素材ゆえのナチュラルな動き。これをハードベイトで再現することは不可能で、モノによっては生きているエサ(小魚や甲殻類、ときに虫など)を忠実に模す。そしてこの動きこそが、バスからバイトを導き出すために最も影響を与えるものである、と考えられる。

さらにこのほかにも、ときに見えているバスと対峙するときには有効であったり、ときにたくさんのアングラーが集う中で自分だけがバイトを得ることができたりと、ソフトベイトだけが持つメリットは多数存在する。それらを知れば、おのずと釣果は上がる!

見た目がリアルだから

「例えばリアルさにこだわって作ったマイラーミノー。バスにエサとして認識させるには、どれだけ本物の存在に近づけられるかが重要になります。それがバイト率の高さに直結する。マイラーミノーは中空ボディに挿入したマイラーチューブが、小魚がヒラを打ったときのきらめきを再現。またオリカネ虫はバスが下から見上げたときのシルエットと浮き方にこだわりました。ただ浮かべておくだけで、バスが躊躇せず口にするのはそれだけ本物に近いということです。」



O.S.Pではマイラーミノーやオリカネ虫など、リアルさを追求したアイテムもラインナップ。躊躇うことなくバスが口にするほどのリアルさは、ハイプレッシャー化が進む昨今のフィールドではなくてはならない存在だ



例えばドライブスティックはボディの背と腹で塩の密度を変えているだけでなく、各サイズによって素材を使い分けている。その形状が最も魅力的に動くマテリアル選定を厳密に行っているからこそ、O.S.Pのワームは釣れるのだ



生きているかのごとく、ナチュラルに動くから

「ワームはしなやかにクネる、プルプルと細かく震える、ビラビラなびく、そしてパタパタと水をかくなど、多彩な柔らかい動きを出すことができます。この、まるで生きているかのようなナチュラルさは、ソフトマテリアルならではです。バスは視覚に頼って捕食するサカナであるがゆえ、このように魅力的なアクションを見せるものに鋭く反応してしまいます。また、柔らかいボディが動くことで発生する、ナチュラルな水押しはバスの本能を刺激。これらはソフトベイトならではのと言えますね。」



O.S.Pのワームは生き物が発するライブリーな動きを独自の「釣れる動き」として再現。フォルムさせるだけで自発的に動いたり、ロッドアクションに機敏に反応して艶めかしい動きや、ときに俊敏な動きを見せるなど、O.S.Pのワームが釣れる一番の理由はここにあると言ってもいいだろう

スナッグレス性能に優れるから

「ワームはスナッグレス性能に長けるというのも、釣れる理由のひとつです。フックポイントをワームの中に埋める、もしくはガードつきのフックを使うことによって、ハードルアーでは引っ掛かってしまうようなカバーの中にでも、臆せず探ることが可能になります。ご存じのとおり、バスは障害物や物陰を好む習性がありますから、そういったスポットの中に入れて、その場で誘うことができるメリットは絶大です。」



トリプルフックを有するハードベイトでは攻めきれない、カバーやストラクチャーを果敢に攻められる。自分が隠れたり身を寄せられるモノを好むバスを手にするためには、スナッグレス性能なしでは話れない。こいつはまた、ワームが釣れる理由のひとつ

item マイラーミノー3.5in

究極のマッチザベイト

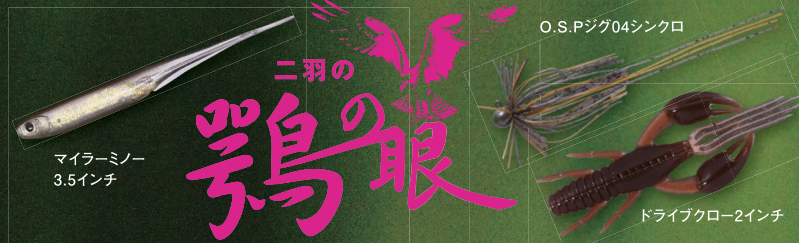
4月のリザーバーを攻略するうえで必ず用意しておきたいルアーが、マイラーミノーの3.5インチです。なぜ3.5インチなのかというと、3月に比べると4月のリザーバーでは捕食されるベイトフィッシュのサイズが上がる傾向にあること。また、3月にはミドストがメインだった釣り方も、多くのバスがシャローに上がり、スポーニング前の段階としてベイトフィッシュを盛んに捕食するようになるため、より水面を意識したピクピクの出番が必然的に上がってくる。つまりマッチザベイトであり、ピクピクでの飛距離を考えたとき、マイラーミノー3.5インチの出番となるわけです。カラーに関しては、選上してくるワカサギや稚アユなどを意識し、またプレッシャーのかかったバスに対し過度にアピールしすぎないピンクレディーを多用します。使用するエリアやスポットとしては、まずベイトフィッシュが集まりやすいバックウォーターなどの流れ込み周辺やセクション部など。また、スポーニングを意識しはじめたバスが集まっていくクリーク内やワンドの入り口付近などが狙い目です。釣り方としては、その日のバスのレンジに合わせていくことが重要で、気温が急激に下がったりした際には、バスもレンジが下がってしまうためミドストがメインに。逆に暖かかったり雨や曇りのローライトな日には、バスのレンジが浅くなりがちですのでピクピクといった具合に、バスに合わせて使い分けてみてください。



item O.S.Pジグ04シンクロ+ドライブクロー2in

シャローエリア手前のレイダウン撃ち

4月の亀山湖に欠かせないルアーは、やはりO.S.Pジグ04シンクロです。4月に入ればバスはスポーニングに向けて動き出します。そんな季節において、プリのデカバスを狙うならレイダウンの先端が自分の経験上、最も狙い目です!! 産卵を意識するバスはシャローエリアに向かう前に、その手前にあるカバーにつきます。そこでシャローを最初に狙うのもありますが、まずは手前にあるストラクチャーから攻めるのがボクのセオリーです。立ち木などのストラクチャーもいいですが、個人的に一番のオスメがレイダウン絡み。沖のカバーを狙ってもダメな場合は、シャローエリアでシンクロを使って中層スイミングやボトムをズルズルしてみるのも効果的です。メインで使用するウエイト



マイラーミノー 3.5インチ

O.S.Pジグ04シンクロ

ドライブクロー2インチ

二羽の鵜の眼

このコーナーでは、O.S.Pが誇るプロスタッフ陣が自身のホームレイクのシーズンパターンをもとにこの時期に欠かせないアイテムとその使い方を解説。ぜひ参考にしてほしい。

4月のリザーバーに不可欠なO.S.Pルアー

はボトムをズル引きする場合は1.8g。中層をスイミングする場合は1.2gです。実績の高いイチオシカラーはシンクロにおいてはテナガ、これにドライブクロー2インチのスカッパン。非常にいい思いをしているので、ぜひ試してみてください。また縦の釣りで反応がない場合は、横の釣りにスイッチ。これで春ならではのデカバスハンティングを楽しんでくださいね!



自由に行くこと、かないませぬか? それは釣り業界人として同じ。だから釣りに行く前には必ず、こんなことを、しているのです……

プロスタッフ 山添大介さんの場合

ボートのデッキでおむつ交換!!

釣りに行くためのOOO

我が家の場合ですが、嫁さんは釣りのよき理解者なので、行く前は顔色を伺って……というのはありませんが、2人目の子供が生まれてしばらくした頃から、ひとりでの釣行が難しくなってきました。でも、釣りは行きたい……そこで、子供たちと一緒に連れて行くことに。上は女の子というのもあって、あまり連れて行きませんが……下の息子は3歳から中学生になる頃まで頻りに連れて行きました。はじめは場所が大変でしたが、子供も成長とともに釣りに向かっても慣れ、魚も釣るようになりまし。おまけに自分と同じ時間を湖上で過ごすわけですから、シーズン中は周囲から備長炭と言われるほど日焼けしてましたね(笑)。そしてときどき、嫁さんとも一緒に連れて行き、息子の行動を見てもうらんです。慣れた釣りの動作や普段は見えないイキイキとした息子の表情を見て、釣りに対するイメージがさらにUP!! でも、ここまでの道のりは長かった。はじめはボートにタックル一式と、おむつとお尻拭き、万が一の着替えを積んでプラクティスを散々してしまったり、小学生に上がった頃は、ロッドを持つより虫捕りあみを持ってボートからトンボやカマキリを捕らされているほうが長い時もありました。でも、1日の中でちゃんと釣りができるチャンスがあったり、移動などで10分ぐらい走ると気持ちいいんでしようね。子供の頭がコックリコックリしてくるわけです。そのままだ寝かしつけて2時間ほど爆睡してくれたので、その時間本気で釣りができるんです!!

ま、当時はこんな状況で釣りをしましたけど、今ではとてもいい思い出です。

PRESENT! event@o-s-p.net

オリカネ虫&オリカネ虫ダイーに、ステッカーをセットで5名に!!



〈オリカネ虫〉 〈オリカネ虫ダイー〉

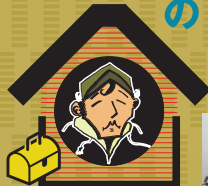
応募方法_希望者はメールにて、件名「O.S.P JOURNAL プレゼント係」とし、以下の項目にお答えください。

- ①_このパンフレットをどちらのお店で手にしましたか
- ②_このパンフレットの率直な感想
- ③_このパンフレットに求める情報
- ④_釣り歴とホームグラウンド
- ⑤_O.S.Pで好きなルアー

以上5点の回答に加え、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、ご応募ください。締切は2016年4月28日(木)。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

個人情報について_ご提供いただきました個人情報は厳重に管理し、賞品の抽選、発送および当選者への連絡に使用します。また、提供者の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません(法令等により開示を求められた場合を除く)

オリキンのよりリアルさを増すヒレチューン



ヒミツの小屋

ポイル仕事人として不動の地位を確立しているベントミノーですが、デッドスティッキングでもバスを惹き付けます。そこで思いついたのがi-Waverのスペアの毛をつけて、尾びれや胸びれに見えるようにすること。毛をフレアシすぎない量にし、付け根を接着剤で半固定して可動範囲を制限しました。フックを隠し、ヒレ先だけがチラチラと動くことで、ガン見してるバスのスイッチを必ずや… 入れてくれるでしょう(笑)



見せて食べることを意識した、オリキンらしさ溢れるこだわりの逸品

これは、ここだけの秘密 並木敏成が語るあのルアーの真実と... KEEP IT ON THE DOWN LOW

Theme

なぜ、スモークカラーが釣れるのか。

このパンフレットを手にした、あなただけが知ることができるあのルアーの真実と、本当の使い方。

昔からいい思いをしてきたスモークがなぜ釣れるのか、その理由を紐解く。

ひと昔前、ワームと言えば紫や赤というグミのような色やブラックが主流であった。その後、アメリカからウォーターメロンやグリーンパンクなどが日本に入ってくると、瞬間に主役の座に君臨。それと同じころ、スモークもまたワームのカラーラインナップの一角を担うようになった。今思えば、そのころからスモークというカラーは釣れた。自分がワームの釣りをしだしたころは、スライダークワームなどのスモークでいい思いをした。

もちろん今もなお、遜色ない釣れっぷりを見せるスモークだが、これが釣れる理由を今回は紐解いてみようと思う。

まず、スモークというカラーは単純に、水に近い色だからという理由がひとつ。特にクリア寄りの水質においては水と同化する。晴天無風下でバスからルアーが丸見えのとき、およびプレッシャーがかかっていてバスがスレているようなときに効果がある。

また濃いめのスモークはシルエットが出るため、ローライトやディープウォーターではバスが視覚でとらえやすくなる。そもそもスモークは水に黒を少し、垂らしたような色。この垂らす量を増やせば濃いスモークとなることはおわかりいただけるだろう。

次にベイトフィッシュに近似している、という理由。横にホロのようなシルバーを持ってくると、それがウロコが放つ光のようになり、さらにリアルさは増す。もしくは多くの種類のサカナの稚魚やワカサギのような半透明の魚体に非常に似ているだけでなく、小型のエビやザリガニなどもこの色に近い。

しかし釣りをしていて感じるのは、スモークは釣り人にとって視認性が悪い、ということ。グリーンパンクなどの茶系はクリアでも見やすいが、スモークは自分の目でとらえることは難しい。逆に言えばそれだけ、水に同化しているということのなのだが...



グリーンパンク系はボトム中心 スモーク系は中層の攻めをメインに

グリーンパンク系はエビやザリガニの成体の色を模すだけでなく、底質によってはボトムと同化する。もちろん黒っぽい石底などでは濃いめのスモークがよかったり、ウィードが生えていればウォーターメロンなど、先述したように水色に合わせるという観点からすると、スモークは中層がメインになると言えるだろう。もちろん緑がかった水ではウォーターメロンを中層で使うといい。つまり極度なマディウォーターで薄いスモークを使うことはほぼなく、クリア寄りの水では圧倒的にスモークの出番が多い。ただし例

外として、シルエットが出やすい濃いめのスモークや、ラメが入っているタイプのスモークをマディウォーターで使うことはある。またその時期にそこにいるエビなどとマッチするのであれば、そこでもスモークを選ぶ。しかし一般的にはマディになるとグリパン系。ステインからクリア寄りではスモークという認識である。



アシュラとi-Waverにラインナップした 納得のスモーク系カラーのコンセプト

これまでもO.S.Pのハードベイトには、スモーク系をラインナップしていたが「完全なスモーク」でこれという色が少なかったというのが実情だ。例えば千葉県高滝湖の川に差しているワカサギ食いのバスに対して圧倒的に釣れるというカラーがハイカットにはあれど、アシュラやi-Waverには十分に揃えていなかった。そこを今回、補強した。

アシュラは発売して15年も経つのだが、スモーク寄りのカラー（特にルアーの背の色）はあまり支持されず、パンク系のほうが一般的だった。これはスモーク系に比べて茶色がかった背中の方がアングラーからルアーを見やすいからである。しかしバスのクレパー化が進むという時代の背景もあって、プラグにおいてスモークおよびスモークバックは絶対に外せないカラーとなった。これはもちろん、自分の実戦経験からも感じている。そこでラインナップに加えたのが「ゴーストスモークシャッド」だ。



これは透け感のあるスモークでありながら側面に、活きのいいベイトフィッシュを彷彿させるごく薄いピンクとブルーのラインを入れた。ジャークベイトの釣りをやり込んできた人ならわかると思うが、明確なホロボディで寄せてスイッチを入れるという釣りど、水に同化させたカラーチョイスで寄ってきたバスを見切らせることなく素直に口を使わせる。この2つの使い分けがジャークベイトで釣る秘訣であり、ゴーストスモークシャッドは後者の釣りに欠かせないカラーである。ベイトフィッシュっぽくありながら、水になじみ、なおかつハードベイトならではの波動とアピールでバスを寄せ、ためらわせることなく口を使わせるカラーなのだ。

次にi-Waver。基本的には超スローに引くルアーなので波動はないに等しく、それを補う意味ではチャートやピンクなど、派手な色でバスに気づかせて勝負を早めるという作戦は決して間違い

ではない。しかしそれでは寄ってこない、もしくは寄ってきたとしても2m手前でUターンされて苦汁をなめたアングラーも多いのでは？ここで仮に水になじむような、いわばアングラーから見にくい色を使っていたとしたら30cmまで詰めさせる、もしくは口を使わせることが可能なのではないか。そういった思惑から作ったのが「T.N.シークレット小魚」および「T.N.シークレットスモーク」である。



T.N.シークレット小魚

T.N.シークレット小魚はボディサイズに対して、その一部分だけはっきりと見えるホロを塗布。全体のシルエットよりも小さい小魚に見えたり、ときには小魚の腹部として映る。またこのホロ部分が、見にくい中でのマーカーとなってくれる。



T.N.シークレットスモーク

T.N.シークレットスモークもスモークがベースで、これはバスが見上げた空に対してなじむような色を意識している。バスから見てやや見にくさはあるものの、水中に漂う時間（滞空時間？）が長いバスは視界にとどまらせることができ、いずれ気づく。なかなか気づきはしないものの、気づいたときに鼻っ面まで来て最終的に口を使う確率は群を抜いて高い。またボディ前半上部にタイタン系の塗料を薄く吹いたのだが、これがパッケージに収まっている状態からは想像できないほどの視認性を確保している。日向だろうが日陰だろがまるでルアー自体が発光しているのでは、と感じさせるほどである。とはいえ、小魚のウロコはもっと光を放っているため、バスに違和感を与える心配はない。スーパークリアウォーターの池原、七色をホームにする山岡計文プロも「アングラーからの視認性と、タフバスを食わせるナチュラルさの絶妙な組み合わせだ」と賞する、ある意味、不思議な色である。i-Waverすら見切るバスへの最終手段として投入したい切り札と言える。



ワームとラバーのスモークもまた 今や欠かせないカラーとなっている

ワームにおいてもこれまでO.S.Pでは、スモークカラーを取り揃えてきた。ベイトフィッシュを意識したり、クリアウォーターでは自分もスモークを使うことは多かったのだが、もっとバリエーションが欲しいというのが実際のところ。例えば「マジックゴビー」は黒に

近いスモークで、よりローライトやマディウォーター、もしくはクリアウォーターのディープでバスに発見されやすいことを前提に作った。これはワカサギやハゼ系、さらにはエビとして認識させることができるカラーでもある。

また04シンクロには2タイプのスモークが追加される。これも長年、スモークのスカートを充実させたいと思っていたのだが、なかなかそこまで手が回らなかったというのが実情。そんなときに、「芦ノ湖最強」と称される



マジックゴビー

O.S.Pプロスタッフの高原清君が提案してくれたもの。芦ノ湖においてミノやi-Waverでスモークを使いたい。特に晴天無風のときは、よりそう感じる。これは当然、中層からボトムを釣るスモラバでも同様に感じていたこと。水質はもちろん、ときにスモーク色の小さなエビ（モエビ？）やテナガエビを捕食する芦ノ湖では、濃いスモークは必須カラーとなる。しかし単なるスモークではなく、エビが群れると何匹も重なることで濃いスモークとなる。そんな団子状態のエビをバスは捕食しているのだ。ここまで聞くとカンがいい方はおわかりだろう。スモラバではラバーの1本1本がエビ1匹を模しており、04シンクロを団子状のエビを模して使いたい、というのが高原君の理論であった。これを具現化した04シンクロが間もなく発売される。そちらもぜひ、期待してほしい。



芦ノ湖最強と称されるO.S.Pプロスタッフの高原君。今回のスモークカラーの提案に限らず、経験に裏付けされた独創的なアイデアを持っている

Field Guide

このコーナーではO.S.Pプロスタッフが自身のホームグラウンドをシーズンパターンをもとに徹底ガイド！ この時期に欠かせないアイテムと、その使いどころまで余すところなく解説する。今回はオリキンが、房総イチといっても過言ではないメジャーレイク、高滝湖をご案内。ぜひ参考に!!

案内人はこの人

おりかねかずき
折金一樹

ホームレイクは高滝湖と亀山湖。はじめてエレキを買って通ったのが高滝湖で、通いはじめて約20年。同湖で開催されるトーナメントにも参戦し、2015年NBCチャプター南千葉の最終戦ではブリッツEX-DRを駆使して3位入賞



マイラーミノー3.5インチ

高滝湖に多いワカサギやオイカワなどのベイトフィッシュにベストマッチしたサイズ。早春のワカサギパターンならノーシンカーでのワッキーセッティング、ジグヘッド、ダウンショット。ハイシーズンは本湖や有名スポットでショートリーダーのダウンショットやライトキャロなど、いろいろな使い方ができる。

【対応スポット】竹やぶ下、釣り公園、養老川河口、古敷谷川、境橋スロープ



①竹やぶ下

養老川中流の、大きく川がカーブするアウトサイド側に竹が倒れている有名エリア。シードがとでも広く、しっかりと水深もあるのでバスやベイトを数多くストックしている。春のワカサギパターンはもちろんのこと、夏でもバスが多く溜まる超一級のエリアだ。

シーズンパターンをオリキンが徹底解説

例年3月上旬からはじまる春のワカサギパターンが4月末頃に終わりを迎え、その後はバスのスポーニングが本格化する。最初は本湖の護岸やワンドからはじまり、その後は上流に広がる。遅いところでは6月いっぱいまでダラダラと続くのが高滝湖の傾向である。

地形的にはそんなに入り組んでいないので水の流れがよく、雨による濁りのサイクルも短い。それをうまく読んで釣るのが高滝湖攻略の秘訣。

水質は基本ステインだが、ちょっと濁ったぐらいのほうがバスの反応はよくなる。濁りはじめ、澄みはじめはチャンス。そのようなエリアを見つけたら粘ってみよう。

本湖のベイトはワカサギやオイカワ、エビやゴリなど。上流はその他にアユやカニなど、エサの種類が非常に豊富である。ライトリグから巻き物、虫系、メタル系、上流ではビッグベイトといろんなルアーが使えるので攻略の幅も広く、通い込むほどに新たな発見ができるおもしろい湖だと言えるだろう。



逆えは通うほどほどおもしろい!!



②釣り公園

養老川の川幅が広がる所に位置し、アウトサイドバンドが掘れていて上流にはフィーディングエリアとなるシャローフラットもあるので、バスのストック量も多い。釣り公園の中には流れ込みなどの地形変化があり、駐車場も整備されているのでおかつぱりもしやすい。



おかつぱりに最適!!

4月中旬から6月にかけて産卵床保護のためボート進入禁止区域が設定される。期間や場所は年によって変わるので高滝湖観光企業組合のウェブサイトをご参照いただきたい。



③養老川河口

上流からの流れと本湖の水が混じり合うエリアで浅くなっており、流れが変化する場所なのでベイトフィッシュが集まりやすい。上流から流されてきた砂が堆積したサンドバーも各所に見られ、ポイルもよく起こる。かなり浅い場所もあるのでボートは航行注意。



④境橋スロープ

高滝湖三大スロープの1つ。⑨道路跡や⑪鳥居スロープと共通して、建造のために造られた道路や昔使われていた生活道路が残っており、そこが周囲よりも高くなっている。底質も硬く、エビやゴリなどのベイトフィッシュが集まりやすい条件が整った人気エリアだ。

ハイカットDR

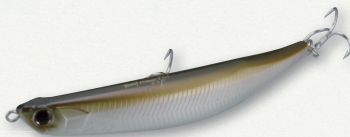
他の同サイズのシャッドと比べて圧倒的なキャスタビリティを誇り、深いレンジを探るのがハイカットDR。タイトかつハイビッチなアクションと相まったオンリーワンの性能を持つルアーである。高滝湖は道路跡や護岸際などのように水深3~4mで釣れる場所も多いので、レンジ的にもベストマッチ。



【対応スポット】竹やぶ下、釣り公園、境橋スロープ、UFOワンド、水車裏、道路跡、鳥居スロープ

ベントミノー86F

春はワカサギパターンのポイル、それ以降はオイカワポイルで活躍する。高滝湖は浅い所でフィーディングすることが多いので、ポイル直撃の必釣ルアーがベントミノーだ。進行方向を見極め、そこへつかないように引いてあげよう。トゥイッチ&ポーズでポイルにタイミングを合わせてアクションさせるのがキモ。



【対応スポット】竹やぶ下、釣り公園、養老川河口、UFOワンド、古敷谷川

高滝湖観光企業組合

高滝湖のボート店は一軒のみ。レンタルボートとスロープの利用、遊漁券の購入はこちらにて。レンタルボートは免許不要艇から3人乗りの大型艇まで揃っており、ハンドコンやバッテリーのレンタルもある。営業時間、料金などはウェブサイトにて。

千葉県市原市養老字柏野1365-1
TEL 0436-98-1277 <http://www.chuokai-chiba.or.jp/takatakiko/>



⑤UFOワンド

平均2m前後で浅い所はエレキで通れるか通れないかぐらいの水深。春のワカサギパターンはもちろんのこと、湧き水が各所にあり上流の水が最初に入ってくる場所なので、夏でもバスが居着きやすい環境が整っている。とりとめない地形なので広く探るのが大切。



⑧水車裏

ハードボトムでブレイクがはっきりしていて、北風に強いエリア。比較的、護岸の傾斜がきついので風を避けたベイトフィッシュが溜まる時もある。逆に風に押されて寄ることもある。魚の入れ替わりは激しいが、釣れる時は巻き物系の釣りにハマることが多い。



オリカネ虫はマスト!!



オリカネムシ

特にいい時期はスポーニング後。アフターのバスは目線のすぐ上にあるモノを好むのだが、ちょうどその頃は虫が落ちてくるタイミングとも重なる。繊細な使い方などテクニカルな一面も持つオリカネムシは、バイトシーンを見られる楽しさのみならず、バスのコンディションにもマッチしたルアーと言える。

【対応スポット】竹やぶ下、釣り公園、古敷谷川



O.S.Pジグゼロワン

高滝湖はオープンウォーターでの釣りがメインになるが、雨による濁りが入るとカバー撃ちが有効になる。竹などのウッドカバーが多いので、ボリュームがありつつもコンパクトでカバーに入りやすく、スナッグレス性能を併せ持ったO.S.Pジグゼロワンが必須。11gを基本にカバーの濃さで使い分けよう。

【対応スポット】竹やぶ下、養老川河口、各魚礁、大和田ワンド、古敷谷川



ドライブスティック3.5インチ

よく使うのはノーシンカーとジグヘッド。ノーシンカーはバックスライドで岸際のブッシュや縦スト、魚礁などの浮き物を。ジグヘッドは0.9~1.3gでワームの自重をいかしてボトムでシェイクしたり、軽くボトムを小突きながらスイミングさせる。ジグヘッドワッキーでトリッキーな動きを出すのもおもしろい。

【対応スポット】竹やぶ下、釣り公園、養老川河口、各魚礁、水車裏、加茂橋橋脚、大和田ワンド、古敷谷川

ドライブクローラー4.5インチ

いつでもどこでも使えるオールマイティなルアー。サイトならノーシンカーワッキー。ボトムの起伏や沈み物、ハードボトムなどはネコリグでアクションをさせながら横に引こう。ボトムで使うなら定番のグリーン系だが、フォーリングなら透明感がありつつも目立つモーニングドーンなどが効くことも多い。

【対応スポット】すべて



⑥⑦⑬魚礁

浮いた発泡素材に草が生えてできた人工物。高滝湖では3カ所に設置されており、バスは固定のために張られた湖底から伸びるロープや、浮いた魚礁自体に1年を通して着いている。いずれも釣りは可能だが、ロープが入っているため、ボートで中を通過しないこと。



⑩加茂橋橋脚

高滝湖には沖にある障害物が少ないため、橋脚にバスが着きやすい。スポーニング期から夏まで、比較的大きなバスが釣れるのも魅力の1つ。陽の向きによって橋脚自体が大きなシェードを形成するので、それを意識しながら狙っていくのが攻略の基本となるだろう。

⑫大和田ワンド

比較的規模が大きく水深のあるワンド(入り口は5m、奥は2m)。奥には竹が大量に堆積しているためベイトも多い。比較的安定している小さいバスも多く、困ったらここに行ってみるのも手だろう。堆積した竹はもちろん、護岸の変化などもいねいに探ろう。



⑭古敷谷川

高滝湖に2本あるインレットの1本。流入量は養老川より少ないものの水の入れ替わりが早いので、濁りや水温変化のサイクルは短い。上流はナチュラルバンクでサイトやトップウォーターが楽しく、養老川よりバスの絶対量は少ないものの、反応がいい個体も多い。



沢又橋より下流はボート進入禁止だが、おかつぱりは一定区間釣り可能。ただし、ダムサイト付近は立入禁止なのでご注意ください。



※おかつぱりは美術館施設内立入禁止

